

2018年7月27日

第13回日本セラミックス協会関西支部学術講演会 表彰結果について

学術講演奨励賞

下記のご講演に対して授与いたしました。

篠崎健二(産業技術総合研究所)

『ガラス構造制御に基づく新規フッ化物ナノ結晶化ガラスの創製』

学生講演賞

対象となった66件のご講演のうち、下記のご講演に対して授与いたしました。

3名を関東支部の若手研究発表交流会(12/1日, 横浜国立大学)に派遣予定です。

吉岡拓哉(京都大学)

『セルロースナノファイバーへのアパタイト形成能付与による新規骨修復材料の開発』

右田 翼(兵庫県立大学)

『高温スパッタ法によるヘテロエピタキシャルBNEuT薄膜の創製とその諸特性』

松原あかり(京都工芸繊維大学)

『陶磁器釉薬内に生成する気泡の評価』

假屋航平(大阪府立大学)

『金属水酸化物の液相硫化による硫化銅ナノ粒子水分散液の合成』

井上文音(大阪府立大学)

『 $\text{Li}_2\text{O}-\text{B}_2\text{O}_3-\text{Li}_2\text{S}$ 系固体電解質のメカノケミカル合成』